

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年1月29日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500245
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム 養母の里
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里5202-1 (電話) 099-274-7333
自己評価作成日	平成29年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年1月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設し、約1年近くなりましたが、「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」「あったか地域であったか交流みんなでつくろうあったかの輪」の理念のもと、管理者・職員が一丸となって「その人らしさと安心」を大切にできる環境を利用者様に提供できるよう配慮し、日々を楽しく生活を続けられるように努力しております。

また、理念も毎朝唱和し、職員同士のチームワークを意識し、さらに利用者様に対する、優しさや思いやりを日々実践できる取組みを心がけております。地域の行事や清掃作業にも参加し、地域の方々との交流を大切に、グループホーム養母の里独自の行事を開催し、地域交流を深めております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体医療機関との24時間医療連携体制が整っており、利用者・家族及び職員の医療面における安心に繋がっている。
- ・隣接有料老人ホーム及び小規模多機能ホームとは、日頃から協力関係が築かれており、合同の会議や行事での交流が行われている。
- ・町内会に加入し、地域行事や清掃活動・夏祭りに参加している。ホームの行事のそうめん流しには多くの住民参加があり、積極的に地域との交流を行っている。認知症サポーター養成講座の講師を務めるなど地域貢献に取り組んでいる。
- ・資格取得に向けて、法人主催の勉強会や研修などの支援制度もあり、スキルアップやケアの質向上に職員も日々研鑽している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	外部評価を活かしてサービスの質の確保と向上に努めている。	法人のグループホーム全体の理念を共有し、独自の目標を設定している。毎日朝礼時、全員で理念を唱和し、実践に繋げている。振り返りは、日々の申し送り後や月1回のミーティングで実施している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	①町内会に加入 ②夏祭り参加 ③ボランティア受入れ ④地域の方々との誕生会	町内会に加入し総会にも出席している。清掃作業や夏まつり、ホームの行事に地域住民の参加があり交流を行っている。介護体験ボランティア受け入れ、中高生の実習、認知症サポーター養成講座を担当している。野菜類やみかん・花などの差し入れもあり日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーターとして地域住民との交流、ボランティア受入れ等で認知症高齢者への理解・支援方法を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>民生委員、入居者様ご家族の意見をいただき、ホームの雰囲気、入居者様の表情等を話し、地域参加やサービス向上に努めている。 定期的な活動報告</p>	<p>会議は定期的に行っている。入居者の現況や行事等の活動状況、ヒヤリハットなど報告し、その後活発に意見交換している。地域の情報を得たり、ホームの情報を発信する機会になっている。医療・福祉の相談などが出されサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険課、地域包括支援センターとの密接な連携を図り、多岐にわたり協力関係を保つように努力している。市主催の研修会にも積極的に参加している</p>	<p>本庁に出向ことも多く、日頃から電話での相談・助言を受けるなど密接に連携・協力関係にある。福祉担当者も2～3ヶ月に1回の訪問もあり連携・協力関係を築いている。市主催の研修会にも職員に声かけし積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束ゼロ推進標準マニュアル」を策定し、利用者様本位のサービスによる質の向上を目指している。必要となった場合の行動記録や拘束しないための検討会を2ヶ月に1回行っている。</p>	<p>身体拘束をしないケアのマニュアルがある。ミーティングの中で事例検討や研修を行ったりしている。言葉かけのトーンには職員全員気を付け、言葉遣い等個別指導を行っている。日中の玄関の施錠はせず職員が目配りと連携で制限のない生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の具体例を(部内・部外)研修 身体においては説明のつかない傷などの有無を確認し、分析をするなど見過ごさないように気をつけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の機会を持ち、職員自らが制度を理解し、個々の入居者様に適した活用ができるようにしている。 研修報告を全体MTで行い学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	特に重要事項の説明を入念に行い、相互間で誤解のないよう十分に配慮している。 (入所相談・申し込み・入居前・入居時)		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会、運営推進会議等を通じて様々な意見を取り上げ、運営に反映させている。 面会時、遠方在住の方からはお便りでの声を活かしている。	利用者には日々の会話の中で意見等を聞いている。家族には家族会や運営推進会議で意見を聞いたり、来訪時に職員から声をかけて要望等を聞いている。年2回のアンケート調査と年1回の家族会で希望や要望を聞いている。遠方在住の家族からは電話や便りで意見を聞いている。 ハード面の改善等がサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティング時に提言、意見を聞き、運営に反映させている。</p> <p>定例会(2回/MT)での内容次第では報告、連絡ノートで伝えている。</p>	<p>管理者は毎日の申送り時、月1回のミーティング、日頃のケア時に意見や提案を聞いている。個別面談を年2回実施したり、必要時に面談している。シフト相談にはその都度対応し、ケアに伴う備品や乾燥機を購入している。ハード面の修繕なども行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の能力に見合った給与体系を策定し、また、職員の要望等を聞き職場環境の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>◎仕事に対する意識、目標を聞き、どの様なサポートが出来るか一緒に考えている。</p> <p>◎サービス業である為、必要条件を話し働きやすい職場環境を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>幹部による他施設への訪問、職員の研修派遣、分科会等での実態面の議論等を通じ、お互いの資質向上が図れるように努めている。必要に応じ個別指導もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人、ご家族からこれまでの生活状況等聴取し、どのようなサービスが必要か、お互いに納得できるまで協議している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が納得されるまで、要望、対応を協議し、利用にあたっての不安を取り除くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ひと通りのサービスではなく、多角的なサービス提供を検討し、利用者に最適な利用をしていただくように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も介護される立場に立ち、更に家族的な雰囲気の中で過し合える努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連携を密にし、要望を受け入れ、また提言も行い、ご家族と共に入居様ご本人を支えていけるよう努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活歴や習慣を大切にし地域行事に参加したり、他施設に入居中の友人に会いに行ったりしている。墓参りなどの支援も行っている。手紙や電話の取次ぎなどもして、継続的環境が途切れないよう働きかけている。	地域の敬老会や受診時に知人と昔話等をしたり、近所の菓子店での買い物や家族と墓参り・自宅訪問に出かける等、これまでの関係が途切れないように支援している。馴染みの訪問理・美容を利用している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様個々の性格を観察し、全員が参加できるようなレクリエーション等を策定するなど、利用者間での交流が図れるように努力している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されてからも、随時近況を伺う等している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人にとって、快適な環境で過していただけるようご家族とも相談するように努めている。日常生活での会話からも思いを聞くことのできる環境に努めている。	本人の日々の会話や仕草・表情から思いを把握し、家族の情報を基に意向の把握に努めている。自分で思いを表出することができる利用者が多く、日々傾聴に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からのお話を聞くなどし、場合によっては住居を訪問し、今後のサービス提供に生かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅でのリズムや習慣を大切にしつつ、集団生活の場で発揮できる能力を分析、把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の意見、要望、職員同士のミーティングを通じ、それぞれの入居者様の現状に即した的確な介護計画を策定している。必要に応じCM、職員がモニタリングし、次へ向けたケアへ取り組んでいる。	本人や家族の情報を基に職員で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。必要時担当者会議を開催し、入居時は1ヶ月、定期的に6ヶ月に1回、必要時はその都度、見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア記録、職員間の引き継ぎを的確に行い、利用者の情報の共有化を図り、創意工夫しながら介護を行うように努めている。職員向けの申し送りと個別ケアの申し送りを作り、情報共有・統一したケアを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の状況、ご家族との話し合いにより、同一事業所内の他サービスを受けられる場合は柔軟に対応する。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご本人の意向や必要性に応じて、民生委員、警察、消防等と協力しながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人及びご家族の意向を尊重し、かかりつけ医との連携を図り、的確な受診ができるように支援している。</p>	<p>本人・家族の希望に応じて受診支援を大切にしている。入居者のほとんどが協力医療機関が主治医で定期的な訪問診療を受け日常的な健康管理を行っている。緊急時も医療機関と連絡調整し適切な医療を受けられるよう支援している。受診結果は状況に応じて家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内の看護職員から訪問診療担当医へ状態報告し、担当NSとの連携を図り適切な看護、介護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に様子伺いをし、Dr, NSからの情報を基に退院に向けての準備、必要に応じ退院後の相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に応じ、家族と連絡をとり、可能な範囲の支援を説明している。早い段階から延命についての話。重度化した場合の施設での対応。	契約時にホームの方針や看取りの体制について説明している。マニュアルもあり、家族会でも理事長から説明を行っている。家族へアンケート調査も実施している。状態の変化とともに家族に説明し方針を共有しながら支援に取り組んでいる。家族の希望で食事介助の協力もしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ミーティングや必要に応じ対応方法、見極め方等の勉強会を行っている。初期対応については、職場内看護職員のオンコール態勢で対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所の各部署ごとに火災・防火訓練を実施し、年1～2回は地域のご協力をいただき、職員相互で検討を行う等、有事の際に備えている。</p>	<p>訓練時は同敷地内の併施設との合同訓練を地域住民との協力体制で実施している。通報体制として地域の公民館長も入っている。災害時の備蓄としてヘルメット・ランタン・カセットコンロなどの備品、食料として水・レトルト食品・お粥などがある。本年度から年2回の防災訓練を予定、地域住民への声かけ、参加を計画している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>声かけひとつから入居者様の人格に配慮し、いわゆる「尊厳」に重きを置き、入居者様を一個人として尊重するように心掛けている。</p>	<p>法人主催で年1回、個人情報やプライバシーに関する研修会に参加している。ホーム内でも勉強会を開催し、入居者への呼び掛けは基本的に「さん」で、1人ひとりにあった声かけや対応を心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様が自己決定できるように、想いが伝えられるように問いかけをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人の生活歴を把握しそれに近づけるような支援を行っている。自由に行動を簡単にさえぎらないようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>意思決定できる方には好みの服を選んでいただき、整髪のできる方にはドライヤーブラシの準備等の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>何が食べたいか入居者様に話しかけ、メニューに取り入れたり、台所での作業、下膳等、できる方には職員と一緒に行っていただいている。</p> <p>週2回の買出しを一緒にやっている。</p>	<p>献立は入居者の希望を取り入れ職員が作成している。個々の力量に応じて、職員と一緒に買い出しや下ごしらえ・下膳などの後片付けも職員と一緒にしている。食事は職員と一緒に食べている。毎月の誕生会や年1～2回の外出・バーベキューなど、食事が楽しみとなるよう支援している。おやつも一緒に手作りで楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>実施状況に応じて温、冷や飲み物の種類を替えるなどの工夫をし提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>舌の状態によっては舌ブラシで保清に努め、義歯の方は1日1回洗浄液を使用している。</p> <p>口腔状態によっては、職員が口腔消毒を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定時にトイレ誘導をしトイレでの排泄支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレ排泄での見守り支援を行っている。尿意便意のない利用者には定時にトイレ誘導をしている。定時でトイレ誘導していた利用者が自ら「トイレは何処」と言われるようになり、自立に向けた排泄の支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	特別な事情がない限りなるべく薬剤は使用しない方向で支援している。 また、便秘が及ぼす影響等、内部研修を定期的に行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように対応している。希望があれば毎日でも対応可能となっている。入浴を拒む利用者にも言葉かけや時間調整など職員間で連携して、入浴を楽しむように工夫している。	基本的に週3回午前中に入浴支援である。毎日の入浴希望者にも対応している。羞恥心の強い利用者には同性介助の対応をしている。入浴剤を使用し楽しめるよう支援している。入浴拒否の場合は時間調整や声掛けの工夫をして状況改善し入浴支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後など、ゆっくりできる環境作りを心掛け（音・室温・光等）夜間は特に安眠できるように支援している。消灯時間は作らず一人一人その日のタイミングや状況に合わせた声掛けで入床していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の勉強会（施設内）を行い、服薬方法（食前・食後）の意味、副作用はなぜおきるのかなどスタッフが理解する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様個々の趣味、特技を理解し、楽しみながら個々の能力を引き出せるように支援している。個人別だけでなく集団レクリエーションを取り入れ利用者間との交流を図りながら楽しみを作る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族、ご本人の要望は勿論のこと、昼食後等の近隣の散策、ドライブ等、計画的に外出支援をしている。</p>	<p>日常的には田んぼ周辺の散歩や屋外での日光浴支援をしている。年間計画に沿って花見や遠足に弁当持参で出かけている。ドライブや買い物・地域住民参加のソーメン流し・物産館・ファミリーレストランでの外食など外出支援を行っている。家族の協力で外泊などもしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様個々の能力に応じて、お金の所持、支払を支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望により支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光、壁紙、広さ等に留意し、さらに清掃を徹底して行い、利用者様の居心地の良い明るく清潔な共用空間づくりを心掛けている。</p>	<p>共用空間は採光もよく温度も適温で湿度は除湿器で調整され過ごしやすい環境となっている。壁にはホワイトボードでの日課や行事などの写真、職員の紹介、手作りの新聞等が貼ってあり、居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>空間の一角にソファ、椅子を置くなど、気ままにくつろげる空間を工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の使い勝手のいい家具類、日用品の配置に留意し、利用者中心の居心地のいい居室空間を工夫している。</p>	<p>各居室は冷暖房機具やベット・整理ダンスが備え付けである。寝具類は使い慣れたものを持ち込み、ラジオ・籐椅子・ぬいぐるみ・白寿のお祝いの額縁・写真などが飾られ、その人らしく過ごしやすいような居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様自身ができることはしてもらい、できないことは手伝いながらできるようになるように支援し、自立に向けた生活ができるように工夫している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない